



ようこそ、クラシック音楽の世界へ。「のだめカンタービレ」の影響が、最近、クラシック音楽が注目されていますね。ですが生のコンサートの魅力を、あなたはご存知でしょうか？ 今回は、そんなコンサートの素晴らしさを紹介します。（鏡）

♪コンサートの魅力

「クラシックコンサート」と聞くと、どんなイメージを持ちますか？ もしかすると、案外多くの人が「近寄りづらい」「重い」などのイメージを持つかもしれません。確かに、性質上、重厚なものになってしまうことはありますが、その本質はポップスなどのライブとなんら変わるところはありません。多くの人に聞いてほしい、その願いから、演奏者側も色々な工夫を凝

らして楽しんでもらえるように努力をしています。

迫力という点でもまた然り、実際、コンサートで演奏者たちが出す迫力やエネルギーは、たとえばロックライブなどのそれに負けずとも劣らないものです。それは、CDなどのメディアを通してでは決して味わうことのできない、まさにコンサートならではのものと言えるでしょう。

♪作曲家紹介

ここでは、右ページで紹介するコンサートに合わせ、音楽界での超有名作曲家たちを紹介します。

F・F・ショパン

この名前は多くの人が知っていることでしょう。「ピアノの詩人」の異名を持ち、その名の通り非常に叙情的な旋律の楽曲を数多く残しています。映画『戦場のピアニスト』で彼の曲が用いられたことも有名で、19世紀の大作曲家の1人と言えるでしょう。その代表的作品としては、フィギュアスケートの浅田真央選手がプログラムの曲として使っている『夜想曲（ノクターン）第2番変ホ長調』などが挙げられます。



J・S・バッハ



音楽的に重要ないくつかの手法を初めて確立したことから、「近代音楽の父」とも呼ばれます。宮廷音楽が主流だったこの時代の音楽はバロック音楽と呼ばれ、彼もまた旋律の絡み合いがはっきりした曲を多く作っています。オルガンやリコーダーなど、それ以降はあまり使われない楽器をよく使っているのも特徴と言えます。代表曲は、おそらく誰もが音楽の授業で耳にしたであろう『小フーガ ト短調』などです。

M・ラヴェル

20世紀を代表する作曲家の1人で、『水の戯れ』などの曲で知られますが、最もよく耳にするのは何と言っても『ボレロ』でしょう。タン・タタタン・タタタン・タン……という小だいのリズムはこの曲を有名にした1つの要因ですが、当時はまだ新参者のサクソをオーケストラに組み



込んだことでも有名です。「スイスの時計職人」とまで呼ばれる、精緻で細かな楽曲構成が彼の作風の特徴と言えます。

♪オーケストラって？

オーケストラとは、いくつもの楽器で構成された演奏団体のことを指します。ピアノリサイタルなど、単一の楽器、あるいは少数種の楽器で行われるコンサートもありますが、交響曲や協奏曲などを演奏する場合は、必ずと言っていいほどオーケストラによる演奏が行われます。オーケストラのパートには、大

きく分けて、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスで構成される弦楽器パートと、フルートやクラリネット、トランペットなどの楽器で構成される管楽器パートとがあります。これらの多種多様な楽器編成により、オーケストラは重層的で豊かな響きを出すことが可能となっています。

はみだし
すてーじ

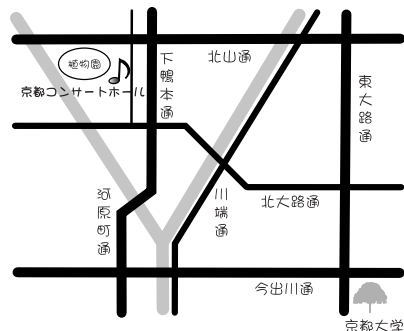
ひとことポストに講義のレポートを出しそうになっちゃった。
⇒あなたには、全学共通科目「はみだしすてーじの書き方」の単位を認定します。

（工・3 まーくん）
（得られるのはセンスのみ；編）

♪京都コンサートホール紹介

さて、ここで今回紹介するコンサートが行われる、京都コンサートホールについて、簡単に紹介しておきます。

京都コンサートホールは、1995年、京都建都1200周年を記念して作られた、東洋でも最大級のコンサートホールで、ポストモダン建築の代表格、磯崎新氏の設計です。大ホールのステージにはパイプオルガンが設置され、そのストップ（オルガンの音色を変化させるための栓）には、日本の伝統楽器（尺八など）の音を出すためのものが装着されています。また、設計の際、音響設計側から音が拡散する天井が求められたため、何種類かの突起物が散りばめられた独特な天井となっています。



♪コンサート紹介

それでは、実際にコンサートに行ってみましょう！ ここでは一例として、誰でも親しみやすいコンサートを紹介します。

①バレンタインコンサート2007～愛の歌～

1つ目に紹介するのは、バレンタインデーと一緒に過ごす恋人たちにオススメのコンサートです。『アルルの女』では、ある1人の女に一目惚れをした若者の悲愛が描かれます。また、ショパンのピアノ協奏曲では、彼が当時片思いをしていた女性への思慕、そしてこの曲の演奏を最後に母国・ポーランドを去ることとなったショパンの旅立ちが、仲道郁代氏のピアノによって美しくかつ激しく歌い上げられます。また、比較的小型のオーケストラではありますが、彼女の優雅なピアノを支える、佐藤俊太郎氏の指揮と京都フィルハーモニー室内合奏団の演奏にも耳を傾けてみてください。



データ

日時：2月14日（水）開演19：00～（開場18：15～）
場所：京都コンサートホール 大ホール
曲目：ビゼー/劇音楽「アルルの女」抜粋
ショパン/ピアノ協奏曲第1番 ホ短調
指揮：佐藤俊太郎 ピアノ：仲道郁代
管弦楽：京都フィルハーモニー室内合奏団
入場料：一般/3000円 学生・シルバー/1500円
（前売券・税込）※当日券は500円増

②パイプオルガン コン서트シリーズ vol.3 I

データ

日時：2月25日（日）開演11：00～（開場10：00～）
場所：京都コンサートホール 大ホール
曲目：バッハ/前奏曲とフーガ ハ長調
G線上のアリア
ラヴェル/亡き王女のためのパヴァーヌ
近藤岳/「きらきら星」の主題による変奏曲 など
演奏：桑山彩子
入場料：一般/1000円 高校生以下/500円（全席自由）

続いて紹介するのは、京都コンサートホールの1つの売りと言ってもいい、東洋最大級のパイプオルガンをういたコンサートです。オルガン楽曲の大家・バッハの名曲『G線上のアリア』をはじめ、『亡き王女のためのパヴァーヌ』『きらきら星変奏曲』など数々の名曲が、桑山彩子氏の温かなオルガンの音色によって奏でられます。入場料もリーズナブルで全席自由のため、気軽に足を運ぶことができます。パイプオルガンを生で聞くことはあまりできません。これを機に聞きに行ってみませんか？

なお、京都コンサートホールのカウンターでチケットを購入する（現在すでに購入可能）と、コンサートの後に行われるオルガンレクチャー（定員100名）に参加することもできます。

Column：学生オーケストラ

上に紹介したコンサートは比較的安価なものですが、やはりコンサートに行くのにお金がかかるのは事実と言っていいでしょう。しかし、私たちのような大学生が作る学生オケならば、割安でハイレベルな演奏を聞けること請け合いです。機会があれば、一度行かれてみてはいかがでしょうか？

はみだし
すてーじ

柿ドロボーをしました。
⇒私は本命チョコドロボーです。

いかがでしたでしょうか？ 今までクラシックを聞いたことがない人にも、ぜひ一度聞いていただけたら、と願っています。

（農・4 マキ）
（完全なる欺瞞；編）